

考古学を通して地元松山の魅力的な歴史普及を目指します

VOICE
03



K.Yさん (40代 事務職員)

2010年入社(13年目)

所属:施設管理部 埋蔵文化財センター

→過去異動歴

経営企画課

1. 自己紹介

遺跡の発掘調査や展示会の企画・開催、考古学講座の講師、学校や公民館での出前講座など考古学に関する知識を活かしながら埋蔵文化財の普及啓発に努め、施設の管理・運営に取り組んでいます。

2. 財団へ入ったきっかけは何ですか？

大学で考古学を専攻し、故郷である愛媛県内で埋蔵文化財発掘調査員になることを目指し、松山市立埋蔵文化財センターと松山市考古館を管理・運営している財団の技術職員(学芸員)となりました。

3. 職場内はどのような雰囲気ですか？

考古学の専門的な知識や、発掘調査に関する豊富な経験・技術のあるベテラン職員が多く、仕事や日常生活について気軽にアドバイスを受けることができます。また、個性や特性を尊重しながら互いに支え合うことができる職場です。

4. 仕事の面白さなど就職して感じることを教えてください。

遺跡の現地説明会や報告会、松山市考古館での展示会や出前講座などを通じて、市民の方々に遺跡の価値や考古学の面白さが伝わり、地域の歴史にロマンを感じ喜んでいただけたときに仕事の良さ・やりがいを感じます。

また、調査では播磨塚天神山古墳（前方後円墳）や松山城三之丸御殿の発掘調査に携わることができ、考古館では鳥取県や島根県、岡山県、大阪府、奈良県、愛知県、東京都などから重要文化財や県指定文化財など貴重な資料をお借りした展示会を開催しました。



5. 一日の仕事のスケジュールを教えてください。



8:30 出勤・朝礼、事務処理



9:00 展示室、バックヤードの案内



10:30 古代体験教室（火おこし体験、石勾玉づくり等）



12:00 休憩



13:30 発掘調査の協議、現場の視察



16:30 事務処理



17:15 退勤